

ミニシンポジウム開催のお知らせ

文学とジェンダー

日時:2019年11月1日(金)

午後2時～午後5時

場所:A15棟2階中会議室

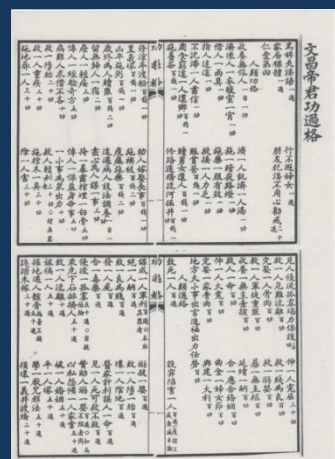
2時～3時

余治の保嬰会

—清末上海における嬰兒保護の試み—

櫻井俊郎

一家が生きながらえるために、乳飲み子を殺めたり路傍に捨てたりして、口を減らさなければならない。そんな悲劇が珍しいことではなかった清代のこと。犠牲者は女兒が圧倒的に多かったと言います。こうした状況をなんとかしようと、近代的福祉制度より前に「保嬰会」組織を立ち上げたのが余治という人物でした。「功過格」を出発点に、彼の活動を紹介したいと思います。



3時10分～4時10分

卑弥呼の鏡

大形徹

卑弥呼に下賜された鏡が何だったのかはわかりません。卑弥呼は女王ですから、西王母の鏡を欲しがった、あるいは魏が気をきかせてそういった鏡を渡したとすれば興味ぶかいです。卑弥呼の「鬼道」をして「鏡」と結びつけば、鬼神の世界をこの世に映し出す重要な呪具として使用したのかもしれない。鏡の謎を探っていききたいと思います。



4時20分～5時 自由討論

※参加は無料ですが、資料配付の都合上、事前にメールまたは葉書で下記までお申し込み下さい。講演会の後、近くのレストランで懇親会を予定しています。懇親会に参加希望の方は、10月20日(日)までに、下記までご連絡下さい。

問い合わせ・申込み先:

人間社会システム科学研究科 村田京子 (bal@hs.osakafu-u.ac.jp)

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 大阪府立大学